

地下鉄長田駅前再整備

1. 社会実験の実施報告
2. 効果の検証
3. 検証を踏まえた工事の内容

1. 社会実験の実施報告

暫定整備後の様子（2024年9月撮影）



1. 社会実験の実施報告

暫定整備後の様子（2024年9月撮影）



1. 社会実験の実施報告

○これまでのワークショップ等での意見

(居心地／利活用)

- ・日常の憩いの場を基本にするのが良い
- ・ゆったり余裕があり、柔軟に利用できるとよい
- ・滞留時間が長くなりすぎるので、机は不要
- ・木陰があると良い

(自転車)

- ・駐輪対策としても、スツールは一定の効果があるように思う
- ・自転車の進入、スピードを抑える工夫をしてほしい

オープンスペースの目指すイメージ



- ① みどりやベンチのある「憩いの場」
- ② 待合わせにも使われる「賑わいの場」
- ③ 自転車やごみのない、スッキリした「安全な場」

1. 社会実験の実施報告

⇒ 目指すイメージの実現に向け社会実験を行いました

実施期間：2024年11月1日（金）～ 29日（金） ※16日(土)はイベントを実施

下記項目について効果検証（現地調査、カウント、インタビュー、アンケート等）

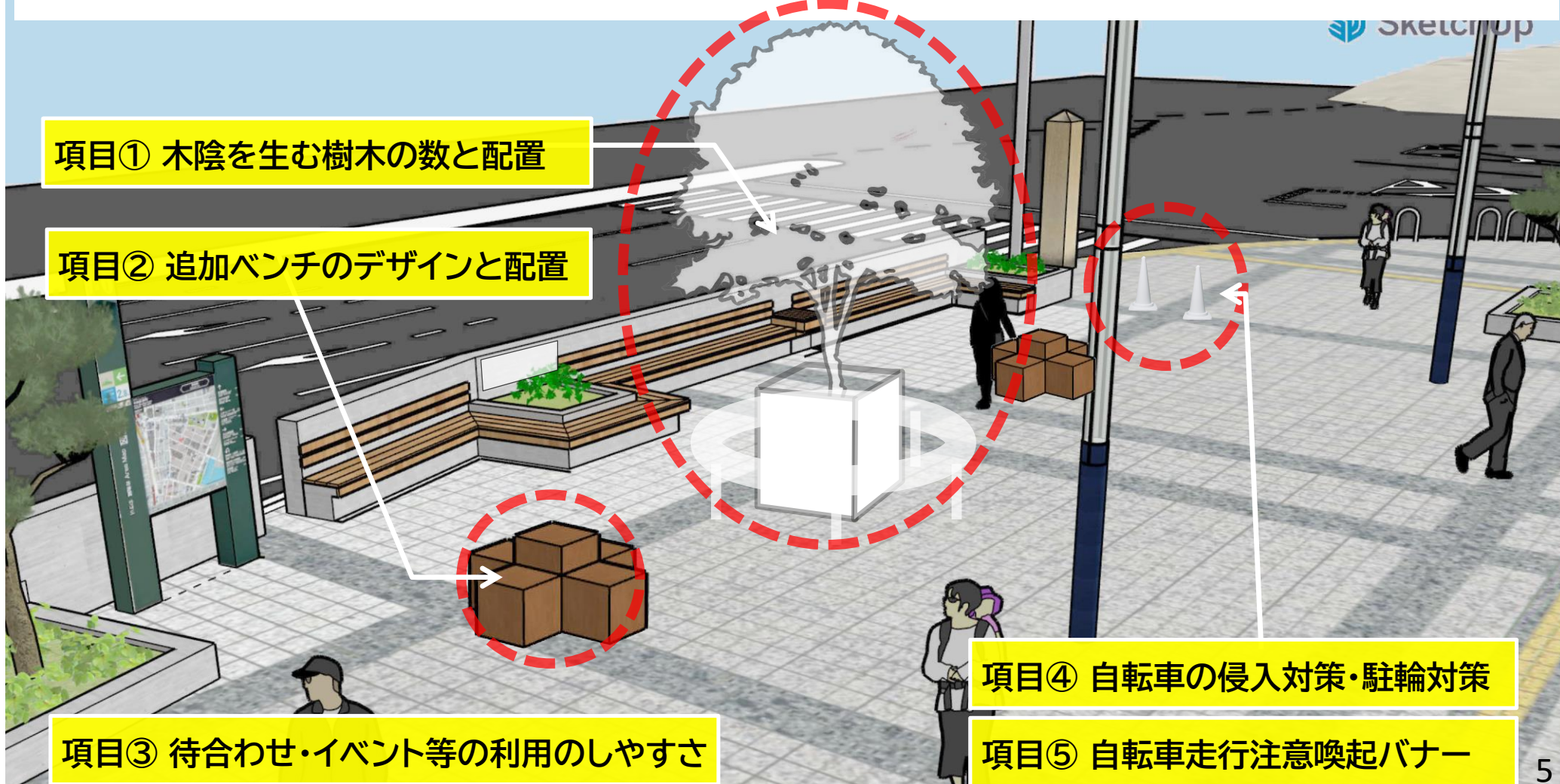
項目① 木陰を生む樹木の数と配置

項目② 追加ベンチのデザインと配置

項目③ 待合わせ・イベント等の利用のしやすさ

項目④ 自転車の侵入対策・駐輪対策

項目⑤ 自転車走行注意喚起バナー



1. 社会実験の実施報告

社会実験の様子(11/1~16) _※樹木1、島状ベンチ2



1. 社会実験の実施報告

社会実験の様子（11/17～29）_※樹木2、島状ベンチ1



1. 社会実験の実施報告

社会実験の様子（11/16_イベント時）



2. 効果の検証

① 木陰を生む樹木の配置と数

肯定的な意見

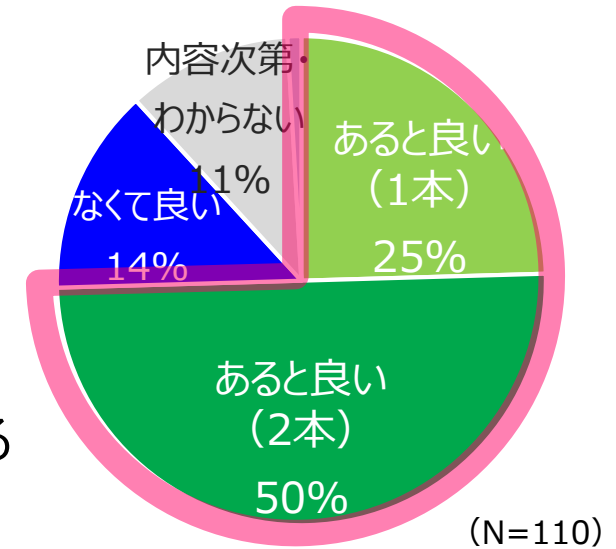
- ・「木陰」ができて待合せや信号待ちの時に助かる
- ・「癒やし」の効果が高く、駅前の雰囲気良くなる
五葉松との調和やスペースのゆとりは考慮する必要がある

中立的／否定的な意見

- ・ 鳥や落ち葉等の維持管理も必要となる
- ・ 見通しを阻害しないような工夫は必要

● 検証

- ・ 自転車の減速や、そぞろ歩きの効果があった
- ・ 周辺との調和や空間のゆとりは考慮しつつ、植樹ができるとうい
- ・ スペースの余地や落ち葉等も考慮して、本数は1本を想定
- ・ 実験中は樹木への鳥害は無かったが、植樹にあたっては樹種、樹形も考慮する必要がある



2. 効果の検証

【参考】木陰で信号待ちする様子



2. 効果の検証

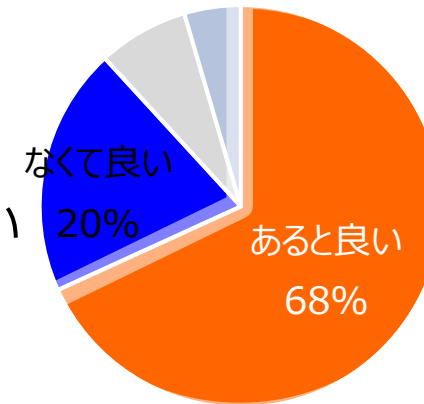
② 追加ベンチのデザインと配置

肯定的な意見

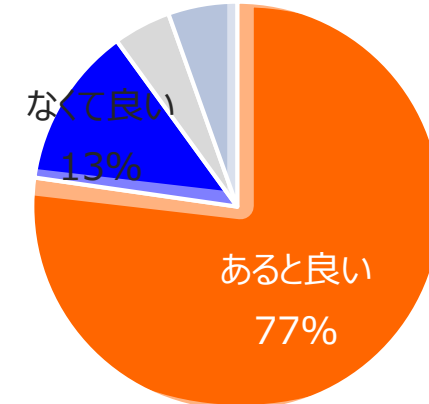
- ・ テイクアウトしたものが飲食出来てよい
- ・ 樹木とのセット(サークルベンチ)は利用しやすい

中立的／否定的な意見

- ・ 単体の島状ベンチはその形状から、長時間の溜まりが心配



①サークルベンチ (N=110)



②単体ベンチ (N=110)

● 検証

- ・ 対面形式は長時間占有の懸念がある
- ・ 木陰とセットの「サークルベンチ」が効果的
- ・ 単体ベンチはイベント時の需要や利用喚起の効果は一定あるが、現時点では通常時の懸念があることから随時設置が現実的



①サークルベンチ

②単体ベンチ



※対面による溜まりの様子

2. 効果の検証

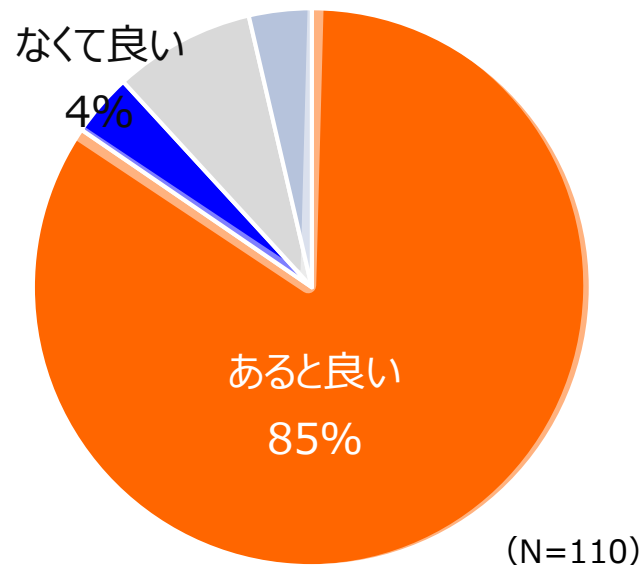
③ 自転車の侵入対策・駐輪対策

肯定的な意見

- ・ 歩道空間の安全、安心のために必要
- ・ 交差点との自転車の往来に対して注意喚起になった

中立的／否定的な意見

- ・ 景観面にも配慮は必要



● 検証

- ・ 通過目的の自転車について、オープンスペースへの進入抑制効果があった
- ・ 歩行者は十分にゆとりをもって通行することができた
- ・ 当面は明示効果の高い「サインキューブ」を設置する



2. 効果の検証

④待合わせ・イベント等の利用のしやすさ



直線状ベンチでの待ち合わせ利用



信号待ちの間の短時間利用



軽食利用

● 検証

- ・ 以前から「ファミリーマート」のフリースペースが待合せ場所として使われているのに加え、屋外で居心地よく気持ちの良い空間として利用ニーズが高い
- ・ 前述の「木陰」「ベンチ」により待合せに必要な機能は充足していた
- ・ 説明しやすい整備をすることがランドマークとしても効果的
- ・ 喫煙、飲酒、その他不快な利用があるとバッドスポットとして避けられる恐れがある。よい環境を保つ方法は継続的に考え、実践していく必要がある（次項参照）

2. 効果の検証

【参考】ゴミについて

- ・ 再整備前に比べてゴミの量は少なくなっていますが、美装化でゴミが目立つ状況
- ・ 今後も継続して、持続的な維持管理について考えていく必要があります



ぼい捨て



沿道店舗のごみ箱設置



地域清掃の様子

2. 効果の検証

④待合せ・イベント等の利用のしやすさ

11/16(土)Nagata Street Party

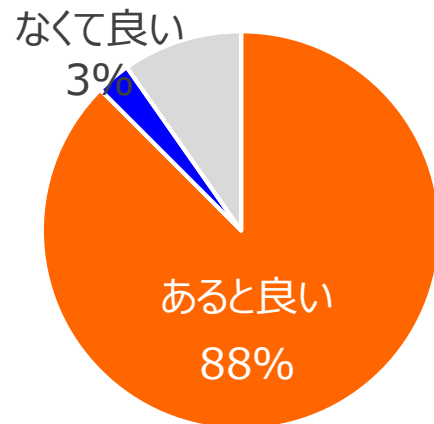


11/17(日)ボランティア清掃活動



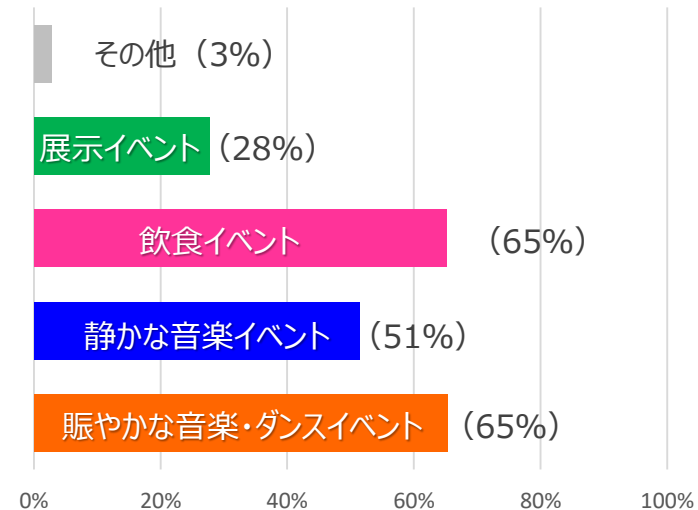
2. 効果の検証

④待合せ・イベント等の利用のしやすさ



【イベント】(N=72)

※11/16イベント時のみの設問



【イベントの内容】(N=72)

※11/16イベント時のみの設問、複数回答

●検証

- ・ 立地面では利用しやすく、イベントスペースとしてのポテンシャルは高い
- ・ イベント等の活用ニーズは高く、不適切利用の抑制や駅前空間のイメージアップに効果的

2. 効果の検証

④待合せ・イベント等の利用のしやすさ



東向きに集客し、一部通行の妨げとなった（11/16）



一部北向きに集客し、通行帯が確保（11/17）

● 検証 | 安全確保、周辺対応について

- ・ 道路使用にあたり、通行帯の確保及び警備員2名の配置を行った
- ・ 一時的に通行帯にはみ出る場面があった。また、演奏の際には近隣から音量について苦情があった
- ・ 今後利用する際には、レイアウトの工夫や範囲の明示、過度な集団等を防止する工夫が必要
- ・ 新植する樹木は通行帯との区分に植えるなど、利用範囲を視覚的に明示するよう工夫が必要
- ・ 南北方向にレイアウトするなどの工夫により、通路側へのはみだしは一定防止できる

2. 効果の検証

④待合せ・イベント等の利用のしやすさ



事例 | 三宮サンキタ通り



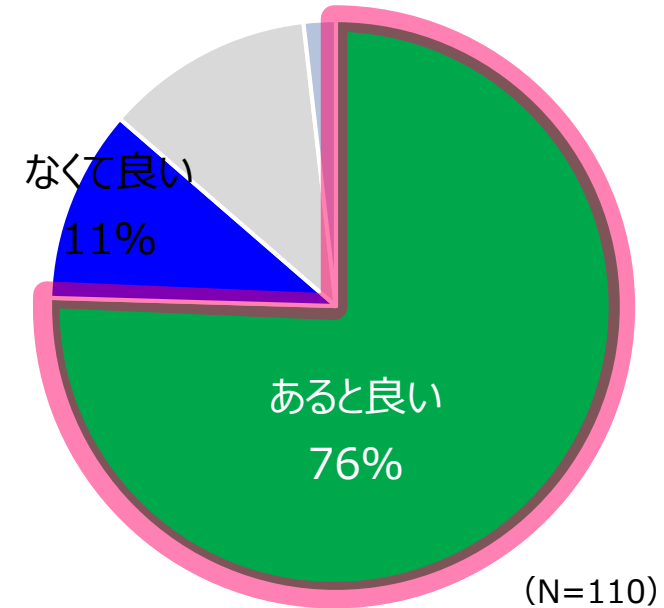
事例 | 東京都（社会実験）

● 検証 | 道路使用許可／まちづくりとの関連について

- ・ 単なるイベントや収益目的では使用許可が得にくい
- ・ 公的な主体として道路維持管理やまちづくりなど、地域方針の達成のために実施するものとして位置づけるなどして理解を得ることが必要
- ・ 道路空間の維持管理活動（清掃・花壇管理など）と一体的に行うまちづくり活動の一環として実施するなどの整理が必要

2. 効果の検証

⑥ 自転車走行注意喚起バナー

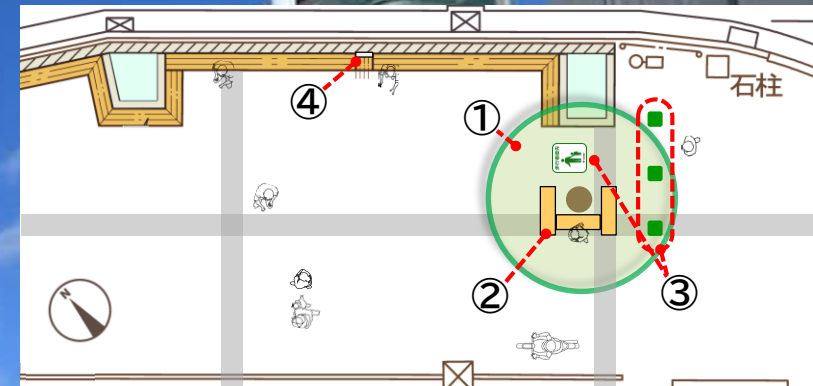


● 検証

- ・ 設置により注意する際の根拠になるとの意見は複数あったが、視認性が低いとの評価
- ・ 現状はコーンにより注意喚起機能を果たしているため当面は不要
- ・ 今後、駅前の自転車マナーが向上し、サインキューブを撤去する際に必要性和あわせて、視認性やデザイン性に優れたバナーを検討する

3. 効果検証を踏まえた本整備のイメージ

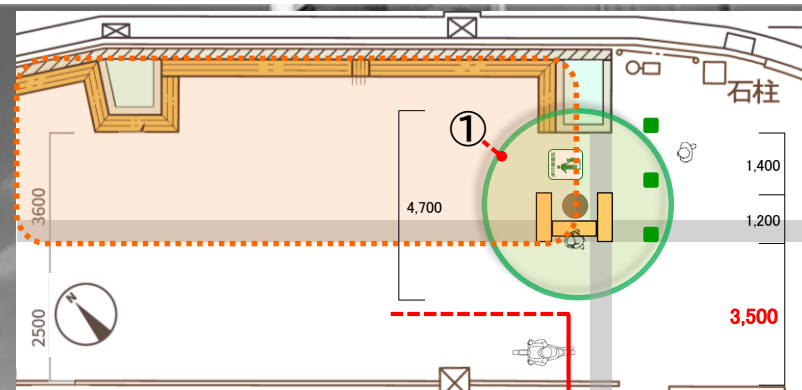
- ① 樹木 (ライトアップ含む)
- ② サポーターベンチ
- ③ 自転車進入対策
- ④ 掲示板 (スペースのPR・マナー啓発など)



3. 効果検証を踏まえた本整備のイメージ

①樹木 (ライトアップ含む)

- ・ 交通量の多い歩道であることから、通行帯は十分に確保する
- ・ 夏場のベンチに木陰ができる位置に植樹
- ・ イベントが収まる程度のゆとりを持ち、樹木は通行帯へはみ出さない明示の役割も持つ位置に配置
- ・ 樹高は景観面から照明柱と同程度を想定



植栽計画（高木）

◆夏季の木陰創出、長田地域の既存街路樹、鳥居や松にとの調和 など



植栽計画（高木）

- ◆ 長田地域の和の雰囲気、五葉松との相性
- ◆ 夏に木陰を生み、冬には日光が差す、落葉樹
- ◆ 枝径が細く、多くの鳥が好む実も付けない



イロハモミジを第一候補としたい



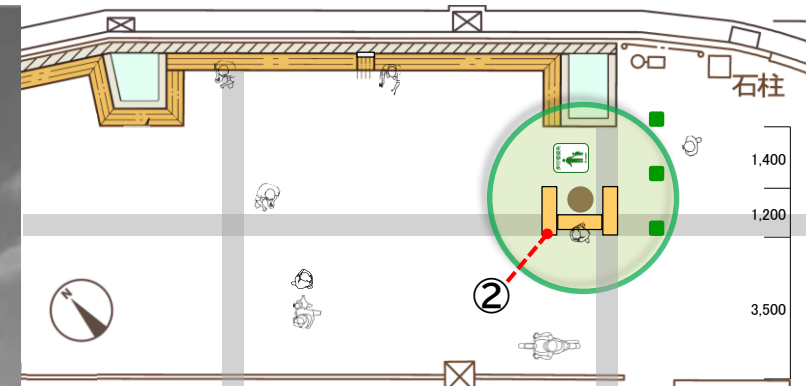
イロハモミジ
（ミッドタウン・ウエスト（東京港区赤坂））

©googleストリートビュー

3. 効果検証を踏まえた本整備のイメージ

② サポーターベンチ

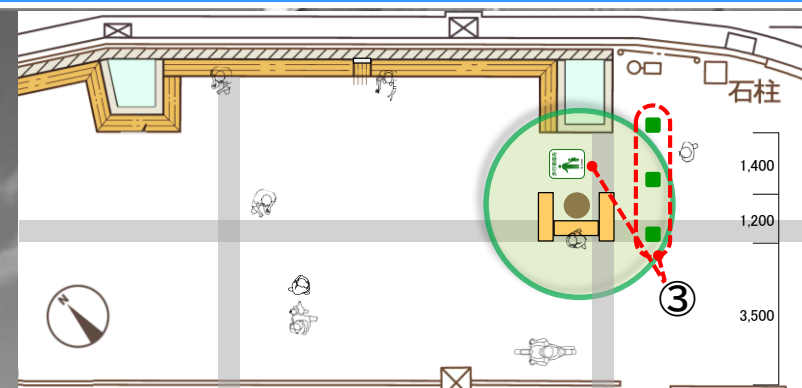
- ・ 頻度よく様々な方に利用いただくよう、腰高のサポーターベンチを計画（信号待ち など）利用に循環が生まれることで、長時間や不適切利用への注意喚起にもなる
- ・ 長時間や不適切利用に配慮して、対面の無い位置に配置
- ・ 自転車は排除しつつ、滞留空間の利用を誘導するように歩行者用の通路を確保



3. 効果検証を踏まえた本整備のイメージ

③ 自転車進入対策

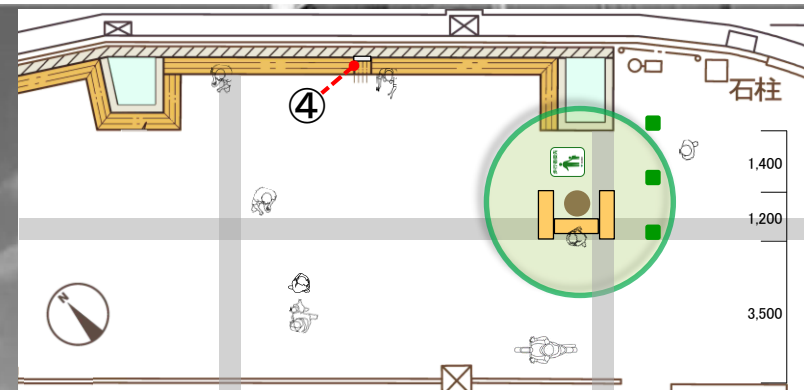
- ・ 樹木の視認効果はあるが、依然として歩道内走行する自転車もいるため、サインキューブを設置



3. 効果検証を踏まえた本整備のイメージ

④ 掲示板 (スペースのPR・マナー啓発など)

- ・スペースの「適正利用」「マナー向上」「啓発活動」などの周知掲示板の設置



3. 効果検証を踏まえた本整備のイメージ

● 3月24日 | 説明会（本日）

「継続的な維持管理」「将来活用」等の検討／共有の継続

- ・清掃 ・植栽管理 ・賑わい創出 ・イメージアップ
- ・沿道店舗等との地域連携 ・啓発（おしチャリ、清掃報告など）

● 4月以降～ | 工事

※樹木の生育には「秋～冬」の植樹が一般的 ⇒ 11月以降の工事を想定しています



2026年4月頃 | 完了・供用開始